

## 算数 第5学年 おぼえているかな？

### 検討会の想定問答

**指摘 1：**本時で何を明らかにするのですか。

**返し：**中心は「基準量を確認めて割合を説明する」です。本時の課題は「以前の割合の図で一に当たる量を示し、式を説明し直す」。児童が「零より大きい同じ比較量でも、零より大きい基準量が違うと割合は異なる」という根拠を、自分の確かめ方に結び付けて説明できることを目指します。

**指摘 2：**単元全体と本時はどうつながりますか。

**返し：**「関連する既習の記録を確認める」から始め、「説明や手順を修正する」へ進みます。本時では、手順や答えだけでは判断できないところを取り上げ、根拠を確認めます。既習が足りなければ、導入で必要な操作や表し方へ戻ります。

**指摘 3：**この課題を選ぶ理由は何ですか。

**返し：**「大きい量を必ず基準にすればよい」という考えと、実際に確かめた結果を比較できるからです。単に誤答を訂正させるのではなく、何を見落としていたかを児童が説明する場面を作ります。

**指摘 4：**困っている児童にはどう支援しますか。

**返し：**何を一とする場面かを文と図で対応させる。その後、教師が説明を続けるのではなく、本人に操作した箇所を示してもらいます。同じ例を覚えてただけかを確認めるため、条件を少し変えた場面でも説明してもらいます。

**指摘 5：**評価の証拠は何ですか。

**返し：**思①では、「零より大きい同じ比較量でも、零より大きい基準量が違うと割合は異なる」を、用いた具体物・図・表・式のうち課題に必要な表現と対応させて説明している。正答だけで判断せず、根拠の箇所を指さず説明や、操作の途中の記録も使います。知①の習得と、理由を述べる思①を区別して記録します。

**指摘 6：**交流で何を比較させますか。

**返し：**答えの違いだけでなく、「零より大きい同じ比較量でも、零より大きい基準量が違うと割合は異なる」をどこで確かめているかを比較します。教師は説明の共通点と条件の違いを整理し、児童が自分の説明を直す時間を残します。

**指摘 7：**理解が進んだ児童への課題は何ですか。

**返し：**「基準量を確認めて割合を説明する」ために使った方法が、条件を変えても成り立つかを考えさせます。別の数値を速く処理するだけでなく、方法を使える条件や、使えない例を説明する方向へ広げます。

**指摘 8：**時数と本時の位置の根拠は何ですか。

**返し：**公式資料の配當時数欄は「一」。独立した授業時数は加算せず、既習単元内で行う復習活動を提案する。自校の年間指導計画と学級の既習を確認し、必要な学習を省かず調整します。

**指摘 9：**学習指導要領との対応はどこですか。

**返し：**対応箇所は学年の目標(1)・学年の目標(2)・学年の目標(3)です。公式細案は対応事項を指定していない。関連既習の説明・確認を行う本案に、当該学年の目標を対応付けた。用語の暗記だけにせず、課題の解決と説明の中で内容を扱います。

指摘 10：時間が足りないとき、何を優先しますか。

返し：「零より大きい同じ比較量でも、零より大きい基準量が違うと割合は異なる」を確かめ、初めの説明を直す場面を優先します。発表する方法の数は絞っても、全員が根拠を示し、教師が思①の証拠を得る時間は残します。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie\_ai\_katsuyo)  
[https://www.threads.com/@mie\\_ai\\_katsuyo](https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo)

LINEオープンチャット  
みえ先生ラボ

